

# ブダペスト通信

盛田 常夫



2022年 NO. 38

10月27日

オルバン首相のインタビュー (Budapester Zeitung)



ドイツを訪問し、シュルツ首相との会談を終えたオルバン首相は、当地ブダペストのドイツ紙によるインタビュー (<https://www.budapester.hu/politik-interview/wir-ungarn-sind-ein-freiheitsliebendes-volk/> 2022年10月24日付) に答えている。いくつかオルバン首相の考えを知るうえで、興味深い言明がみられる。主要なポイントは、以下の通りである。

1. ドイツ社会民主党はヨーロッパでもっともハンガリーに敵対的な政党である。ただ、国家間の関係は政党同士の関係より重要なものだから、(右派の) AfD との関係に深入りするのはいずれでもない。ハンガリーから見ると、CDU は中道右派ではなく左翼政党だ。
2. ドイツは多民族化が進んでおり、多文化社会に変わった。ドイツ社会に比べ、ハンガリーははるかに自由で多様性をもつ平和な社会だ。だから、これから10-20年の間、西側諸国からハンガリーへの移住者が増えることは確実だ。それはハンガリーがヨーロッパの伝統を重んじており、安全な国だからだ。西側からの移住者については、ハンガリーは歓迎する。

**筆者コメント：ドイツやオーストリアの年金生活者がセカンドハウスを所有するために、ハンガリーで居住権を取得する可能性はあるが、若い人は所得水準が低いハンガリーを離れドイツやアメリカに移住する動向に、今後とも変化はないと考えられる。オルバン首相の考えに賛同できる人は少ないだろう。**

3. 和平の実現には戦争を終わらせ、和平を主導できる強力な政治家が必要だ。だから、トランプ大統領やネタニヤフ首相の再現が望ましい。
4. 戦争が始まってから、ハンガリー政府はウクライナにおけるハンガリー人少数民族の人権問題を取り上げていないが、だからと言って、それを諦めたのではない。そのために、戦争が終わった段階で、ハンガリー人少数民族を保護する包括的な協定を結ばなければならない

**筆者注：一部の Fidesz 支持の政治学者は、「今後の戦争終結後、ハンガリーはウクライナからの攻勢に対抗するために、軍力を強化しなければならない」と述べている。きわめて異質な言動だが、Fidesz 政治家の一部にこの種の考えを保持している者がいる）。**

5. EU の諸機関は、EU 補助金をハンガリー政府の政策変更手段として使っている。当面の17項目の修正要求の後、さらに18、19項目目の要求がでてくるだろう。欧州委員会の目的は、ポーランドとハンガリーの政権交代にある。

6. もし EU 補助金が支給されない場合には、EU（欧州委員会）とハンガリーの関係は予想不可能な対立を招くだろう。ハンガリー政府はロシアとエネルギー問題を協議しているだけでなく、中国とも話し合いを行っている。最後の手段として、中国の資金を使う選択肢が考えられる。

**筆者コメント：オルバン首相はロシアと中国を対 EU カードとして使っていることが分かる。ロシアのウクライナ侵略が始まってから、ハンガリー政府は外務大臣をモスクワに派遣しプーチン大統領と会談したが、ウクライナを訪問した政治家はいない。**

## ハンガリー政府が新たな「国民コンサルテーション」キャンペーン



ハンガリー政府は EU 委員会による対ロシア制裁措置が、現在の国民生活上の様々な問題を惹き起こしていると主張し、制裁反対の立場を明確にしている。もっとも、EU の会議では条件付きながら、すべての制裁措置に賛成しており、明確な反対は国内向けの政治宣伝である。つまり、政府の失政ではなく、EU の制裁措置が国民生活悪化の元凶であると主張することによって、政府の立場を擁護している。

この視点から、10月初め、すべての有権者にアンケート用紙を郵送し、EU の制裁措置に賛成するか否かを問うキャンペーンを行っている。ちなみに、「国民コンサルテ-

ション」と呼ばれる国民投票まがいの政治キャンペーンは、2017年から始められた。政府の都合によって、何時でもアンケート投票が行える仕組みである。この詳細は、拙著『体制転換の政治経済社会学』（244-248頁）を参照されたい。

今回郵送された「国民コンサルテーション」は、「ブリュッセルの制裁措置にたいす意見聴取」と出されており、以下の7点について、賛成か反対かを問うものである。

1. 「ブリュッセルは石油に対する制裁措置を決定した。貴方はこれに賛成か否か」
2. 「制裁は天然ガスの輸送に広げられた。貴方はこれに賛成か否か」
3. 「ブリュッセルの制裁は原材料にも及んでいる。貴方はこれに賛成か否か」
4. 「加盟国の中には、核燃料にも制裁を科すべきだという意見がある。貴方はこれに賛成か否か」
5. 「パクシ原発は低価格の電力を保証している。この拡張はロシア企業との共同で実行されている。欧州議会やいくつかの野党はロシア企業と共同事業にも制裁を科すべきだとしている。拡張工事の停止は電力価格を引き上げ、電力供給を阻害する。貴方はこのようなパクシ原発投資への制裁に賛成か否か」
6. 「制裁はヨーロッパの旅行業に打撃を与えている。ロシアからの旅行客が減少している。ハンガリーで数十万の人々に労働機会を与えている旅行業への制裁に貴方は賛成か否か」
7. 「制裁は食料品価格を上昇させ、再び移民の流入の波を高めることになる。このような制裁措置に貴方は賛成か否か」

このアンケート用紙の郵送にはとくに期限がない。集計は何度も行われ、回収数が少なければさらにキャンペーンが続けられる。野党支持者はほとんど返送しないので、返送数で現在の政権支持層の状況を知ることができる。総選挙での得票数およそ 330 万票

は Fidesz 政権の岩盤支持層だと考えられるが、ロシアのウクライナ侵略以降、この支持層に変化があるかどうか、それが興味の一つである。